

## ジュビリーの手紙—2022 年 「愛されている者であること」

*神の愛がわたしたちの心に注がれているからです・・・(ロマ 5 章 5 節)*

**愛する 2022 年のジュビラリアンのシスター方、**

心からの喜びと愛をもって、私は 25 年、40 年、50 年、60 年、70 年、75 年、80 年前に初誓願を宣立された

皆様お一人おひとりのために祈り、お祝いを申し上げます。今年は私も、皆様と共にジュビリーを祝いますので、神様のこれまでの忠実で親密な愛を新たに体験する時となります。

神の愛は私たちの心に注がれ、私たちの忠実な奉獻生活は、神の愛を証ししています。実に、私たちは「愛されている者」です。神から愛され、その愛を生きるよう選ばれ、世界の中で神の愛を目に見える形にし、生きるよう遣わされた者です。わたしたちはそのことを祝います。

神の愛の証しは、希望と励ましの深い源です。特に、暗く不確かな時代を生きる今日の世界に必要な「福音」です。この証しをされてきた皆様に、私は感謝いたします。同時に、ノートルダム教育修道女一人ひとりを通して神がどれほど愛されたかということを感じ、神様に感謝いたします。

このジュビリー一年の間に、一人ひとり、人生の中で「愛されている者」であることの神秘をどのように

体験したか、また、それがどのように発展し、使命における生活を形作ってきたか振り返ってみることをお勧めします。私たちはどのような愛で愛されてきたのでしょうか？私たちは今日、この世界でどのような愛を生き、実現するよう求められているのでしょうか。

### **愛の緊急性**

*愛は常に私たちの意志を神の意志に一致させようとする。(会憲 19)*

すべての存在の源、創造主である神は、私たちとすべての被造物を愛して存在させました。私たち

一人ひとりに対する神の願いは、自分が愛されていることを知り、そのことを自分のものとすることです。そこには神の緊急性、愛の緊急性があるように思います。ヨハネ福音書 3 章 16 節に、「神はひとり子をお与えになったほど、世を愛された」とあるとおりです。

最近、私たちは、クリスマスを終えました。クリスマスは、聖なる歴史において、また、全被造物と人類の歴史の中心で進化し続ける受肉の奥深い神秘を観想する時でした。神は、私たちと共にいることを強く望まれ、また、私たちが「神」、「神の愛」、「神から愛された者」であることを知ることができるよう、人間となることを選ばれました。

私たちは、イエスの洗礼の場面から、このことを少し理解します。天から「あなたはわたしの愛する子…（ルカ 3 章 22 節）」という声がして、イエスが「愛されている者」であることが明らかになります。イエスが、「愛されている者」であることを自らのものにした時、愛の緊急性が作動します。イエスは砂漠での識別の後、出かけて行き、教え、癒し、神の国を宣べ伝え、他者にも同じ使命を生きるようにと権能を授けます。

「愛されている者」であるという恵みは、イエスだけのものではありません。「洗礼を受けた時から、私たちは生活の中で、神が主導権をとられるように、心を開いて新しく生きるものとなった。私たちはキリストの生命にあずかる（会憲 2）」のであり、「愛されていることの賜物」とそれが持つ呼びかけを分かち合うのです。私たちは、「神がまず先に愛してくださったことに応え、私たちも愛をこめて従う（会憲 10）」のであり、使命と愛のために、力を与えられているのです。

神が私たちを愛し、「愛する者」と名付け、人生に入り込み、定着すると、何が起こるのでしょうか？ 福者 M. テレジアは、一人の愛された若い女性として、徹底的にキリストに従うようにと促す「愛の緊急性」の体験を力強く語りました。「私は今、これを、言葉で言い表せないほどの憐みを示されたイエスのうちに書いています・・・私はこの内的な平和を言い表すことができません。今、私はイエスのうちにいます！ イエスはご自分が望むことを私と一緒にしてくださるでしょう。私はイエスを信頼します・・・そうです、愛は待つことができないからです（マザーテレジア、1）」

愛は待つことができません。神に「愛されている者」として、私たちは神の使命のために弟子となるよう駆り立てられています。私たちの召命は、私たちが神に「愛されている者」であることを知り、神によって愛されているのと同じ方法で他者を愛し、互いに「愛されている者」であることを顕すことです。これには、緊急性があります。

▲神に「愛されている者」として、私はどのように愛の緊急性を体験するのでしょうか。

## 愛の徹底性

イエスとの親しい関係が深まるにつれて、更に徹底して愛することができるように、イエスは私たちを解放して下さい。(会憲 13)

「キリストの無条件の愛にとらえられて、私たちは喜びをもって自己の全存在をキリストにかける(会憲 13)」愛において自分自身の全てを与えること以上に徹底的なことはありません。キリストに徹底的に従うために神に招かれ、聖別され(会憲 48)、私たちは愛へと成長し、キリストにより似たものとなり、愛の犠牲の大きさと徹底性を受け入れるのです。

私たちは「キリストの恵みに強められ、キリストに倣い、神の国のために、欠乏、侮辱、圧迫、死などの苦しみに喜んで耐える(会憲 17)」と宣言します。キリストと共に、私たちは神の目と心で見、周囲の痛みや苦しみに

心を痛め、悲しむ人々と共に泣き、重荷を負わせる不正義と闘い、傷を癒し、福音を大胆かつ預言的に生き、

弱さを抱きとめることを学びます。弱さは、私たちが、神に「愛されている者」であることを認識させます。そして、神の弱さ、すなわち、神の共感性を分かち合うよう招かれた者であることを気づかせます。

福者 M. テレジアも初期の省察の中で、この愛の徹底性について語っています。マザーはこう書いています。「愛の他に、誰が諸聖人をあれほど強くしたのでしょうか。愛の他に、誰が諸聖人にあれほど大きな克己を教えたのでしょうか。・・・愛の他に、誰が諸聖人を、自己放棄において助けたのでしょうか。・・・愛は、十字架という

最もむごい死へと自分自身を明け渡すのです・・・」(マザーテレジア、1)

私たちは、「あまずところなく人々に自分を差し出し」、「全人類の間に、より深い交わりが実現するために

自分の命をかける(会憲、序文、34)」よう呼ばれ、実際、促されています。私たちはキリストから、神からの

召命は徹底的な愛であり神性放棄であること、すなわち個人間、多文化間、世界的、宇宙的な互惠のために自分を無にすることであると学びます。徹底的な愛は、これまで以上に究極の明け渡しへと心を開くことであり、普遍的な交わりへと駆り立てます。

▲私は、どのように徹底的な愛に招かれ、生きるよう呼ばれているのでしょうか。

神は私たちが充実した存在へと招いておられることに信頼し・・・(YAS, 一般指針 124)

私たちは、学び、キリストに似たものとなり、愛の中で成長し、成熟すると、愛の逆説に遭遇します。キリストは、友のために自分のいのちを捨てること以上に大きな愛はないと教えています(ヨハネ 15 章 13 節参照)。

全てを与え、自分のいのちを捨て、最後まで愛することは、愛が死よりも強いということを明らかにします。

愛の徹底性を抱きとめ、それを生きること、私たちはかつてないほどの新しさと満ち足りた愛、満ち足りた存在を見出すことができます。緊急で徹底的な愛は、死を超えて、より大きな愛、無限のいのちへと進んでいきます。苦しみと死を通して愛することは、より大きないのちと交わりへのエネルギー、すなわち愛の充満、神の充満のエネルギーを放出します。

聖パウロは、これを祈りの中で見事に表現しています。

・・・信仰によってあなたがたの心のうちにキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛に  
しっかりと立つ者としてくださるよう。また、あなたがたがすべての聖なるものたちと共に、  
キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人の知識をはるかに超  
えるこの愛を知るようになり、そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、  
それによって満たされるよう。 (エフェソ 3 章 17 節～19 節)

愛の充満に成長すると、三位の神、すなわち、聖ボナヴェントウラが愛の「泉の充満」と呼んだ三位の神の

充満を体験し始め、愛の共同体である三位の親密な関係を共有することができるようになります。ハイディ・ラッセルは、三位を「愛の源」、「愛の言葉」、「愛の霊」と表現しています。三位の神は「愛の源」であり、

「愛の言葉」の中に顕わされ、「愛の霊」の中で実現され、共同体と交わりを形成し現在に至っているのです。(ハイディ・ラッセル、「愛の源、愛の言葉、愛の霊としての三位：現実の核としての関係」、米国女子修道会

総長管区長会、全国集会、2018 年 8 月 9 日)

今日の招きは、生命の中心にある愛のエネルギーを信頼し、「愛されている者」としての自分を所有し、自分自身を愛にとらえさせ、愛が完全なものへと、又、普遍的な交わりへと進化するための方法を創造することです。私たちが愛し、交わりの中で生きるために自分自身から抜け出せば、「神が刻印なされた、三位一体のダイナミズムを自分のものとする」のです(ラウダートシ 240 参照)。私たちが「愛されている者である」という恵みを受け入れ、「三位の神、互い同士、神が創造された驚くべき宇宙との関係

の中で、自分たちが  
何者であるかについての意識を深め」、神が私たちに望んでおられる満ち足りた愛に生きることができ  
ますように。

▲愛に満ち溢れた生活をするために、私はどのように招かれているでしょうか。

親愛なるジュビリアンのシスター方、「愛されている者」であるという恵みを祝い、生きていきましょ  
う。

このジュビリー一年の間、召命の贈物を下さった神を称え、感謝し、愛されていることを喜びましょ  
う。私たちが愛となり、愛を証しするために、神は私たちを愛し、遣わしているのです。

すべてを与えて下さる無限の愛である神に愛されている者として、私たちは、生活の中で、「愛の緊急  
性」、「愛の徹底性」、「愛の充満」を発展させていく大胆な生き方を選択しようではありませんか。

神の愛において一致して、  
シスターロクサーン・シャーレス、SSND  
総長